

交通安全ニュース(7月分)

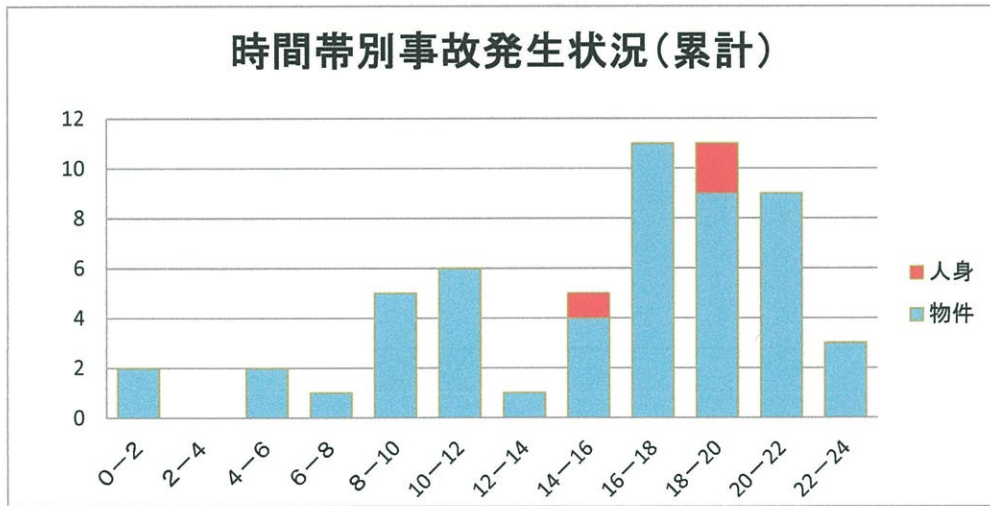
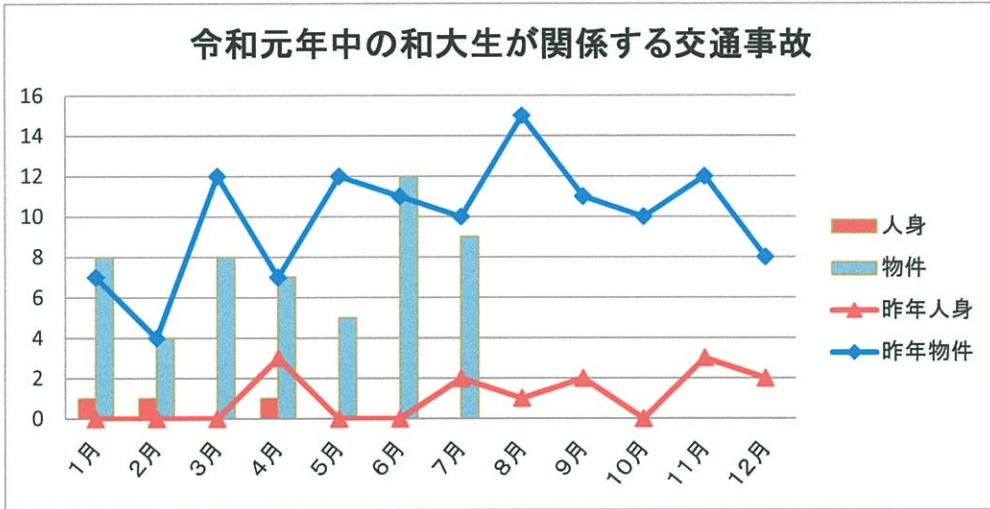
和歌山北警察署
令和元年8月発行

和大学生が当事者となる交通事故件数

7月単月		本年累計		昨年同期		増減率	
人身	物件	人身	物件	人身	物件	人身	物件
0	9	3	53	5	63	-40.0%	-15.9%

和大学生が当事者となる交通事故の主な概要

事故態様(7月) 赤字が和大学生			
普通二輪 ×車	車を左側から追い越す際に接触	原付単独	バランスを崩し自己転倒
車×車	信号停止中の車に追突	車×車	脇見運転し、停止中の車に追突
原付×車	駐車場内を西進中、北進車両に衝突	車×車 車×車	信号停止中の車に追突し、玉突き事故となったもの
車×二種原	右方前方車両が左折する際驚愕転倒し、衝突	車×車	車線変更した際、変更先の車線の車に追突
二種原×車	ブレーキ操作を誤り自己転倒し、滑走した車両が車に衝突		



<和歌山北警察署より>

7月に発生した事故総数は前月比-3件で、昨年同月と比較しても減少しています。さらに怪我を伴う事故は5月以降3ヶ月連続で発生が無く、全体的に減少傾向にあると言えます。

一方で、7月の事故内容を見ると停止中の車両に追突する事故が2件あり、内1件は3台関連の玉突き事故になっています。前方の安全確認及び法令速度の遵守を徹底し、安全運転に努めましょう。一つの違反が甚大な事故を引き起こす場合もあります。今一度自身の運転方法を見直し、法令遵守を徹底しましょう。